

必ずお守りください。安全上のご注意

危険 死亡または重傷を負う可能性が高い内容

＜コイン型リチウム電池について＞
(1)電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
(2)誤って電池を飲み込むと、化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、すぐに取り出さないと、最悪の場合は死に至ることがあります。万一飲み込んだとき、または飲み込んだ恐れがあるときは、直ちに医師に相談してください。

警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容

＜コイン型リチウム電池について＞
(1)充電、ショート、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。
この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。
(2)電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると、発火、破裂の原因となります。

＜梱包用ポリ袋について＞
窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

＜付属部品(木ねじ、掛け具)について＞
木ねじや掛け具などは、幼児の手が届かないところへ置いてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

注意 けがをしたり家財に損害を与える恐れのある内容

＜掛け方について＞
時計は確実に掛けてください。
時計の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は同梱の『製品のお取り扱いに関する重要なお知らせ』も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付ける場合は、建築メーカーなどにご相談ください。

※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

＜電池について＞
下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えると液漏れや破裂により、本製品の故障やけががあります。
(1)⊕⊖を正しく入れてください。
(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池を取り外してください。電池を入れたままにしておく、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
(3)付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
(5)直射日光の当たる場所や高温・高温の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分するか幼児の手の届かないところに保管してください。
(6)時計が動かない場合などは、電池端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾拭きしてください。
(7)付属の電池は工場出荷時に同封された電池です。お買い上げ後、製品年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。

＜分解や改造をしない＞
本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。

＜時計と電池の廃棄について＞
お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

＜時計の設置場所について＞
落下や転倒により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。



厚い木の壁・木の柱に掛けるとき
付属の木ねじをご使用ください。

石膏ボードの壁に掛けるとき
付属の掛金具、釘をご使用ください。

コンクリートなど、上記以外の壁・柱に掛けるとき
付属の木ねじ、掛け具は使用しないでください。市販の掛け具をご使用ください。※市販の掛け具によっては正しい掛け方ができない場合があります。上記の＜掛け方について＞をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

必ずお読みになってからご使用ください。使用場所について

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本商品は業務用ではありません。

●温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
(例)屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。

●温度が-10℃以下になる所。
プラスチック部品や電池が劣化することがあります。

●ちり、ほこりの多い所。
空気中に舞上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。

●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で進み・遅れを生じたり、時計が止まる場合があります。

●浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。

●振動のある所。不安定な所。

●工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が機械の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。

●ビニール系素材、壁や敷物等の上。
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。



製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります)

●精度 度：平均月差±20秒
(電波受信による時刻修正を行わない場合)
(気温5℃から35℃で使用した場合)

●使用温度範囲：-10℃～+50℃

●使用電池：コイン型リチウム電池(CR2477)2個

●電池寿命：約5年

●電波受信機能：自動受信
・1日8回
(受信から次の受信まではクオーツの精度で動作)
手動受信
・ボタン操作による
※2つの電波(40kHz/60kHz)のうち最適な方を選択し、受信します。

●受信結果確認機能：ボタン操作により、LEDランプで表示

●時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット

●光センサーによる自動消灯機能：暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。

●クイックスタート機能：スタートスイッチをスタートにすると現在時刻(近似)を表示します。

*指針(針の表示)誤差について：
構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。

*電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

保証・アフターサービス

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については付属の保証書をご覧ください。
なお、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。

●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。

●保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

●この時計の修理用部品は、製造終了後7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度にならない場合があります。販売店とよくご相談ください。

●修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

●有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。

●保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にお持参ください。販売店で保証が受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。

●お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。

●ご不明の点はお客様相談室にお問い合わせください。

掛時計

取扱説明書

電波クロック

この度はセイコークロック商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、お願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することを禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどにつきましてご不明な点がありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号(品番)をご確認のうえ、下記お客様相談室にお問い合わせください。

(例：HS000、KX000、FS000など)

お客様相談室 0120-315-474

www.seiko-clock.co.jp

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 AHS-054P

故障かな?と思ったときは

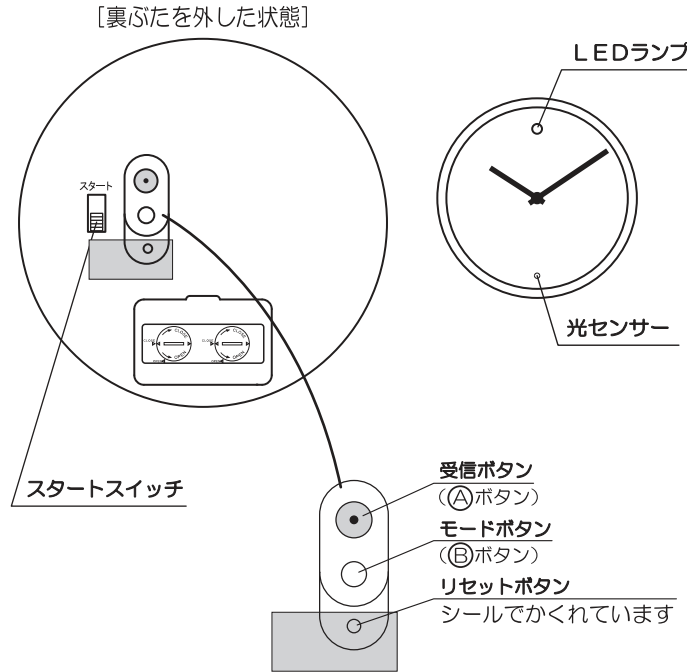
本製品が正常に作動しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
針が動かない	●電池が入っていない	●新しい電池を、電池の向きを確かめながら入れてください。 ●電池の端子や電池ボックスの接片の表面を拭いてください。また、電池を入れた後、電池を2~3回転させてください。 ●スタートスイッチが「スタート」になっていない ●スタートスイッチを「スタート」にしてください。 ●リセットボタンを押してください。 ●電波の受信中、または時刻修正中である ●受信終了後、通常の動作に戻ります。
	●電池が正しい向きで入っていない	
	●電池の端子や電池ボックスの接片が汚れている	
	●スタートスイッチが「スタート」になっていない	
	●静電気などによりマイコンが誤作動している	
針が不規則に動く	●電波の受信中、または時刻修正中である	●受信終了後、通常の動作に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している	●自動秒針停止機能が作動している	●室内が明るくなると秒針が動き始めます。
	●電波の受信中である	●受信が終了すると秒針が動き始めます。
ボタンやスイッチの操作が効かない	●電波の受信に成功し、時刻の修正中である ●リセット後、受信動作中である	●時刻の修正動作が終了してから、再度ボタンやスイッチを操作をしてください。
時刻が合っていない	●電波の受信が成功していない	●「■電波が受信できなかった場合」を参照し、再度受信させてください。
	●電池の容量が少なくなっている	●新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。
	●きちんとリセットされていない	●リセットボタンを確実に押してください。

ご使用方法

■ 操作部

時計のデザインによって電池やボタンの位置などが異なる場合があります。



ご使用前に付属品をご確認ください。

- 取扱説明書（本書）1枚 ●保証書1枚
 - 製品のお取り扱いに関する重要なお知らせ1枚
 - 木ねじ1本（厚い木の壁・木の柱専用）
 - 石膏ボード用掛け具（掛金1個、釘5本（うち1本は予備））
 - コイン型リチウム電池（CR2477）2個（本体にセット済み）
- ※付属の電池は工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

■ ご使用方法

1. スタートスイッチを「スタート」の位置に合わせてください

自動的に現在時刻（近似）に合わせます。（クイックスタート機能）

- 秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し時刻を合わせます（最長約6分）
- 工場出荷後の電波の受信状態によって数分ずれる場合があります。
- クイックスタート機能について
この時計は工場出荷時にあらかじめ電池を入れて電波を自動受信できる状態にセットしてあります。受信に成功した場合、内部の時刻を修正し、受信に失敗した場合は内蔵クォーツの精度で計時します。スタートスイッチを「スタート」に合わせたあと、内部の時刻にもとづき針が時刻を表示します。

2. 時計を設置してください

時計を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

その他の機能

■ 自動受信について

毎日8回、自動で電波受信を行ないます。受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。

- 受信中（最長約20分間）は針が不規則な動きをすることがあります。
秒針：12時の位置で停止
分針：約30秒毎に連針

■ 受信結果について

通常ご使用中に受信ボタン（Aボタン）を1回押す（2秒以下）と以下のようにLEDランプの色によって電波受信結果を表示します。
“緑”が点滅：24時間以内に受信に成功しています。
“赤”が点滅：24時間以内に一度も受信できていません。

■ 電波が受信できなかった場合

1. 電波を強制的に受信して時刻を合わせてください

受信ボタン（Aボタン）をLEDランプの“赤”が点灯するまで（約2秒）押し続けると、針が停止し受信を開始します。受信に要する時間は、最長約20分間です。

- 受信中は、LEDランプが信号に応じて点灯します。（下記「■受信状態について」をご覧ください。）
- 受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。
- 詳しくは右記「電波クロックについて」をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻を合わせることができます

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- ① モードボタン（Bボタン）を針が停止するまで（約2秒）押し続けてください。
- ② 受信ボタン（Aボタン）を1回押すと、分針を1分送り、押し続けるとボタンを放すまで、送り続けます。
- ③ モードボタン（Bボタン）を押すと同時に、針が動き出します。

■ 受信状態について

強制受信中、またはリセット後の受信中は、以下のようにLEDランプの色によって受信状態を表示します。ただし自動受信中はLEDランプは点灯しません。

LEDランプの状態	受信状態
“緑”が点灯	電波状態が良く受信可能
“緑”が点灯し、たまに“赤”が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
“赤”と“緑”が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
“赤”が点灯し、たまに“緑”が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
“赤”が点灯	電波状態が悪く受信不可能 （受信開始後最初の約2秒間は必ず“赤”が点灯します）

■ 光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。明るくなると「0秒」に合わせて秒針が動き出します。

- 照明をつけている場合でも、時計周辺の明るさにより秒針が停止することがあります。
- 秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

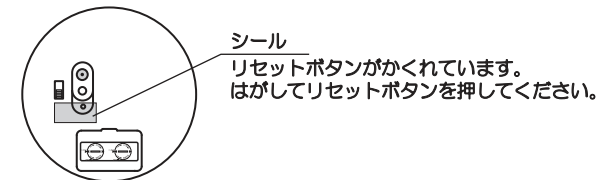
■ 電池の交換方法

1. 電池を交換してください

（コイン型リチウム電池（CR2477）2個）

- ① 裏ぶたを開けてください
-
- ② コイン状のものを電池ぶたの溝に合わせてOPENの方向に回し、電池ぶたをはずしてください。
-
- ③ 古い電池をはずしてください。
 - ④ ⊕側を上にして新しい電池を入れ、電池ぶたをCLOSEの方向に閉めてください。
 - ⑤ 裏ぶたを閉めてください。
-

2. リセットボタンをかくしているシールをはがしてリセットボタンを押してください



リセットボタンを先端の細いもので押してください。受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

- 秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。（1:50、3:10、5:50、6:10、8:30、9:10、11:10、12:10）
- 受信中（最長約20分間）はLEDランプが信号に応じて点灯します。（左記「■受信状態について」をご覧ください。）
- 受信に成功した場合
LEDランプが“緑”で点滅し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。日本標準時が「0秒」になると同時に秒針が動き出します。秒針の位置確認が終わるまでLEDランプ点滅が数分間続きます。
- 受信できなかった場合
LEDランプ消灯後、ただちに針が動き出します。このとき時分針の時刻修正は行いません。左記「■電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注）電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

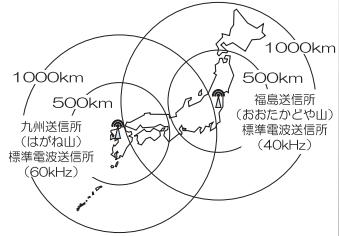
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害などによって、誤った時刻を表示する場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できない場合があります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間は、一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様相談室にお問い合わせください。（ホームページアドレス www.seiko-clock.co.jp）

お手入れについて

プラスチック枠の時計の場合

- 枠を清掃ときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾きさせてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- 汚れやほこりをとるときは、やわらかい布で乾きさせてください。
- ※お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

■ 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）

- ① 電池を入れてリセットボタンを押した後に、受信ボタン（Aボタン）をLEDランプが点滅をはじめるまで（約7秒）押し続けてください。
 - ② 秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出します。
 - ③ 秒針が再び動き出したら、左記「■電波が受信できなかった場合2.手動で時刻を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。
- この機能を設定した後も受信ボタン（Aボタン）をLEDランプの“赤”が点灯するまで（約2秒）押し続けると強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
 - この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

注）通常ご使用の状態では自動受信を止めるには、受信ボタン（Aボタン）をLEDランプの“赤”がいったん点灯し、その後消灯するまで（約7秒）押し続けてください。

■ ご注意

- この時計は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。